

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

北海道北斗市清水川142番地12

株式会社 函館なとり

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,723	流動負債	725,897
現金及び預金	8,078	支払手形	6,197
貯蔵品	1,606	短期借入金	519,000
前払費用	4,939	1年内返済予定の長期借入金	55,948
未収入金	4,098	リース債務	9,870
		未払金	68,464
		未払費用	12,396
固定資産	972,444	未払法人税等	24,959
(有形固定資産)	971,482	未払消費税等	8,583
建物	537,420	賞与引当金	20,477
構築物	7,870		
機械及び装置	129,975	固定負債	119,260
車両運搬具	0	長期借入金	73,174
工具、器具及び備品	413	リース債務	37,452
土地	248,480	退職給付引当金	7,508
リース資産	47,322	資産除去債務	1,125
(無形固定資産)	818		
電話加入権	818	負債合計	845,158
(投資その他の資産)	144	(純資産の部)	
出資金	20	株主資本	146,009
敷金及び保証金	124	資本金	10,000
		利益剰余金	136,009
		その他利益剰余金	136,009
		繰越利益剰余金	136,009
		(うち当期純利益)	42,266
		純資産合計	146,009
資産合計	991,167	負債及び純資産合計	991,167

※第19期

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品……………最終仕入原価法によっております。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産（リース資産を除く）……………定率法
ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法によっております。
また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から 5 年間で均等償却する方法によっております。
- ② リース資産……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (4) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う分を計上しております。
- ③ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
なお、数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10 年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,820,223 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	3,902 千円
短期金銭債務	<u>8,496 千円</u>
合計	<u>12,399 千円</u>

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	897,352 千円
経営指導料	6,480 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

該当事項はありません。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	730,048 円 71 銭
(2) 1株当たり当期純利益	211,334 円 42 銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算書上の当期純利益	42,266 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	42,266 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。